

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス デイズサポートBell		
○保護者評価実施期間	令和6年12月20日 ～ 令和7年1月11日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29 (回答者数)	24
○従業者評価実施期間	令和6年12月20日 ～ 令和7年1月11日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・室内だけでなく、屋外での活動も多く取り入れ、様々な事を経験できるようにしている。	・主に長期休みにお出かけやお買い物などの活動を取り入れ、公共でのマナーを獲得したり、お金の払い方を学んだり、様々な経験が出来る様に取り組んでいる。	・現在は職員が考えるプログラムに取り組んでもらっているが、今後は子供たち主体で、場所や何をしたいか、考えていく形もとっていきたい。
2	・他事業所との交流会。	・年に3回～4回、他事業所との合同療育を行っている。初めて会うお子様と自己紹介をしたりゲームをしたりしながら、社会性や協調性を学んでいる。	・何回かしているうちに顔を覚え友達になって子どもたちも楽しみにしている。今後も引き続き合同療育をしていきたいと思う。
3	・児童指導員、保育士、心理士、英語教諭など常勤職員が療育にあたり、パート従業員を合わせると常に5～6名で療育をしている為、手厚い支援が出来ている。	・常勤職員が公休日でも、パート職員を配置し、質が落ちないように工夫している。	・より専門性を活かしたプログラムが実施していけるように、研修等を交えて療育の質を高めていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他の子どもと活動する機会がなく、地域との交流も出来ていない。	・他事業所との関わりは多少は出来ているが、児童クラブや地域の子どもの関りや、地域との交流が出来ておらず、どのようにして地域との交流を進めていくか検討中である。	・自事業所で季節ごとの行事等を増やし地域の子も達や、兄弟等にも声をかけて行くようにしたい。
2	・保護者を含め、保護者に向けた研修等の開催	・事業者は5年目を迎えたが未だに保護者会や研修等が出来ていない。研修に関しては保護者のニーズにこたえながら開催していきたい。	・今後は保護者の方にアンケート等で、研修企画したり、発達や支援について個別相談が出来る場を見つけていきたい。
3	・十分な療育スペース確保や個別支援が出来るスペースが取れていない。	・法令的には遵守されたスペースであるが、運動遊びや個別支援となると狭さを感じている。その中でも子ども達は元気いっぱい楽しんでいる。	・運動遊び系は近くの公園や体育館を使用しているためそれほどの不便さはない、衝立を置いたり等の工夫をしながら個別指導にはあたっていきたい。